

日本大学理工学部土木工学科にて講義を行いました

「地盤防災」に関する講義を担当

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 代表取締役社長 遠藤一郎は、2025年12月25日に母校である日本大学理工学部土木工学科の大学院にて講義を行いました。次世代のインフラを担う学生の皆様へ、専門企業としての知見をお伝えしました。あわせて、これから技術者に求められる資質についてメッセージを送りました。

本講義では、「防災とは人命・資産を守る対応全般である」という定義に立ち返り、地震や豪雨に伴う液状化、斜面崩壊などのメカニズムを解説しました。2026年に設置が検討されている「防災庁」や、令和7年度の防災予算の増額といった国の最新動向にも触れ、今まさに社会から求められている「事前防災」の重要性を強調しました。

また、社会課題が複雑化していることや労働生産人口の減少の問題にも触れ、AIやIoT、ドローンを駆使した「防災DX」に取り組む重要性を説明するとともに、当社が現在取り組んでいる技術や事例をご紹介させていただきました。

質疑応答の時間には、学生の皆様から「ハザードマップをより分かりやすく利用者に理解してもらうための工夫」について鋭い質問が飛び、弊社代表と熱く意見を交わす場面も見られました。

最後に、日本のインフラを守る人生の先輩として、「技術者は、技術を使ってこそ社会に貢献ができる。勉強し続けることが大事である。」とエールを送り、講義を締めくくりました。

本日このような貴重な機会をくださった本講義の担当教員である鎌尾先生、そして最後まで熱心に耳を傾けてくださった学生の皆様に、心より感謝申し上げます。株式会社アサノ大成基礎エンジニアリングは、これからも技術と誠実さを磨き続け、次世代を担う技術者の育成に貢献してまいります。



講義の様子

以上

＜本資料に関するお問い合わせ＞

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 経営管理本部 吉田 (03-5246-4150・代表) <https://www.atk-eng.jp/>